

令和3年10月5日(火) 人権同和教育リモート講演会

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、また、ICT活用拡大の観点から本校では毎年10月に実施している人権同和教育講演会を今年度はリモート形式で実施しました。講師の先生は、人権テイクルート代表の坂田かおりさん（鳥取県米子市在住）にお願いしました。本校にとって遠隔地在住の講師の先生とリモートで繋いで講演会を実施することは初めての試みであったため、事前に何度もシミュレーションを繰り返しました。様々な役職を兼務され、講演活動でも多用な坂田さんには無理を言って何度もシミュレーションに参加していただき漸くリモート講演会を実現させることができました。ご協力いただきました坂田さんには教職員一同心より感謝申し上げます。

講演のテーマは『いのち輝いて生きる』、坂田さんは「すべては知ることから始まる、知らなければ何も始まらない」という思いから、人権をテーマにした講演活動を長年にわたって続けていらっしやいます。

同和問題、差別・偏見、LGBT等、講演の内容は多岐に亘りました。途中、ご自身のご家族と一緒に制作した視聴覚教材「母娘で問うた部落差別」(部落の心を伝えたいシリーズ第13巻)やLGBTに関する教材も放映していただきました。優しい語り口ですが、話の随所に差別や偏見と戦う強い姿勢を感じることができました。講演会を聴いた生徒たちも同じような印象を持ったことが感想などから窺えます。貴重なお時間を本校のために割いていただきありがとうございました。今後ともご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。



人権同和教育講演会に先立ち、徳永校長より校長室からリモートで開会の挨拶と坂田かおりさんの紹介をしていただきました。



リモートではありましたが、坂田かおりさんから生徒にいくつか質問が投げかけられました。生徒たちは手を上げて一生懸命に答えていたのが印象的でした。

生徒から直接質問は出ませんでした。講演会の最後には各クラスでミュートを解除し、坂田さんに感謝の気持ちを込めて全校生徒の拍手をプレゼントしました。



保護者へも講演会の案内をしたところ、参加希望をいただきました。保護者用に教室を確保し学習用タブレット端末を介して講演を視聴していただきました。

「ためになるたいへん素晴らしい講演であった」とのお言葉をいただきました。ご多用の中本校に足をお運びいただきありがとうございました。

